

「宮崎県オンライン展示・商談会」併催セミナー開催

宮崎県主催及び当協会共催による「宮崎県オンライン展示・商談会」が1月30日(月)から3月31日(金)の日程で開催され、その併催セミナーが1月30日と3月8日、3月31日の3回にわたって行われた。

この展示・商談会は、東九州メディカルバレー構想に基づき、県内中小企業の医療機器関連産業への新規参入や取引拡大を目指す宮崎県が、県内企業と全国の医療機器メーカーやディーラーとの商談、情報交換等の交流を目的に実施しているもの。これまで2年間は熊本、大分、宮崎3県合同で開催してきたが、今回は宮崎県独自の開催となった。

■第1回「宮崎県オンライン展示・商談会」併催セミナー

第1回「宮崎県オンライン展示・商談会」併催セミナーは、去る1月30日(月)午前11時から12時まで開催され、最小侵襲脊椎治療学会理事長の石井賢先生による「整形外科・脊椎疾患の基礎研究から臨床応用への創意工夫」と題する講演が行われた。



石井 賢先生

石井先生は、1993年慶應義塾大学医学部卒業。アメリカジョージタウン大学とハーバード大学に留学後、慶應義塾大学専任講師と特任教授を経て、国際医療福祉大学医学部整形外科教室主任教授を歴任し、現職。運動器・整形外科領域の分かりやすい解説により、テレビ番組やラジオ番組、新聞などの各種メディアに多数出演されている。

先生は講演の中で、「整形外科・脊椎疾患における新たなものづくりや治療法の確立には、豊富な臨床経験と地道な基礎研究の積み重ねが必要不可欠である。実用化へ向けた挑戦は容易ではないが、臨床医にと

っては大変エキサイティングで、かつロマンがある」旨述べ、これまで従事してきた神経再生、感染、低侵襲脊椎、バイオメカニクス領域等での具体的な事例を挙げながら、途中、展示・商談会出展企業紹介(後掲)を挟んで、約40分間わかりやすく解説した。

■第2回「宮崎県オンライン展示・商談会」併催セミナー

第2回「宮崎県オンライン展示・商談会」併催セミナーは、去る3月8日(水)午後1時から2時30分まで開催され、宮崎大学医学部血液・血管先端医療学講座教授の鶴田敏博先生による「宮崎県からイノベティブな医療機器の発出は可能である」と題する講演が行われた。



鶴田敏博先生

鶴田先生は、鹿児島県生まれ。1992年宮崎医科大学医学部医学科を卒業。2000年宮崎医科大学医学部大学院博士課程修了。同年米国メイヨークリニック研究員、2013年宮崎大学医学部附属病院循環器内科(講師)、2018年宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御学分野(准教授)を経て、2022年より現職の宮崎大学医学部血液・血管先端医療学講座教授。趣味は映画・音楽鑑賞、愛犬JINと散歩。

鶴田先生は講演の中で、「東九州メディカルバレー構想、企業との共同研究の内容、企業と宮崎大学との繋がりを持つために開催された『医農工連携プロジェクトものづくりフェスタ2022』の取り組みや結果などについて」紹介されたほか、これからの東九州メディカルバレーを活用した大分・宮崎の課題とそれに対する今後の共創関係の構築への展望等について、具体例を挙げながらわかりやすく解説された。